

研究課題名	リツキシマブ療法によるインフュージョンリアクション発現における解熱鎮痛薬の影響
研究の意義・目的	リツキシマブは様々な疾患に対して投与が行われるが、その投与に際して発熱や悪寒などのインフュージョンリアクションを予防するために解熱鎮痛薬の前投与が必要となります。しかし、その解熱鎮痛薬の具体的な推奨はありません。そこで解熱鎮痛薬の種類がインフュージョンリアクションの発現率にどのような影響があるかを調査します。本研究の結果により、適切な解熱鎮痛薬が選択できればリツキシマブによるインフュージョンリアクションの発現を軽減できる可能性があります。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後～2024年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年5月～2022年5月に大阪公立大学医学部附属病院で、リツキシマブを投与された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身体情報、既往歴、検査データ、薬剤情報、診療記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院薬剤部のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院薬剤部のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 高橋正也
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 高橋正也 電話番号：06-6645-2277 E-mail:masaya-tak@umin.ac.jp